



はるみちゃんに春がきたー!

第十期練板オープンは5月8日(日)新緑薫る板橋平和公園で行われ、はるみがトモヒロ、Mrs.高橋、スペイン後藤、ランキー慎一を下し、悲願の初優勝を果たした。女流の優勝は第八期練板オープンのマダム立川、第7回グラチャンのつぐみに次いで3人目、すべて立川家だ。恐るべし立川三姉妹。女流王はもちろんはるみ、子ども王はランキー慎一だった。また、Mr.高橋の永世オープンはお預けとなった。

ベテラン勢は総崩れ、 女流・子ども 11人が決勝トーナメントに進出

練板オープンといえばおとなが独占したのも今は昔のこと、女流・子どもの躍進が著しくベテラン勢はカヤの外だ。ハルク、松ちゃん、Mr.高橋の三大巨頭が予選落ち、平井おやぢ、怪鳥ギャオス、ルパン師岡もとどかない。一人気を吐いたスペイン後藤は予選トップ通過だが、2位以下はげんた、きょうへい、Mrs.高橋、トモヒロ、ダーリン立川、ランキー慎一、マッチ、マックス吉岡、アッコ、古畑ひろし、はるみ、ナオキ、ショージ、タツヤ、トモヒロママといった具合だ。

急成長ランキー慎一あと一步はるみに及ばず

子どもはある時、急に強くなることがある。今回の慎一がまさにそれだ。決勝トーナメントに入ってからヒモ巻きも早くなったし、ベーに勢いがつき、角づけも身につけた。親御さんも喜んでのことだろう。しかし、そこに立ちはだかったのがはるみだ。スペイン後藤をストレートで破り決勝3番勝負へ。そのはるみの強みは何と言っても武道で鍛えた精神力だ。互いに譲らず2対2となったが、はるみはブレない。ダーリンのアドバイスに従い慎重に床入れを続けチャンスを待つ。そして慎一が勝負にきた瞬間、はるみベーが慎一ベーを弾き勝負あり。アンナちゃんとハイタッチで優勝を祝うはるみちゃん、良かったね、おめでとう。

ダーリン立川、決勝戦を意識しベスト4で敗退

勝てそうでなかなか勝てないダーリン立川。今回も準決勝まで来たが床はずしで敗退だ。はるみちゃんの決勝進出が決まり、はるみなら勝てるなと思った瞬間、心の隙間が生まれた。『連休中だけでも2ヶ所で優勝しているのに、何故かここでは勝てないんだよな』ダーリンの嘆きはいつまで続くのだろうか。



はるみちゃん、ランキー慎一 おめでとう!

